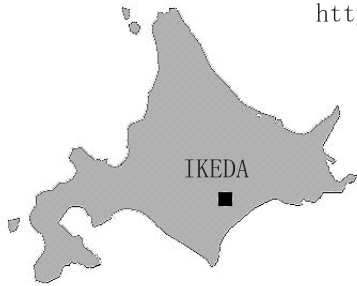


No. 28 2005, Nov.

生神金光大神大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

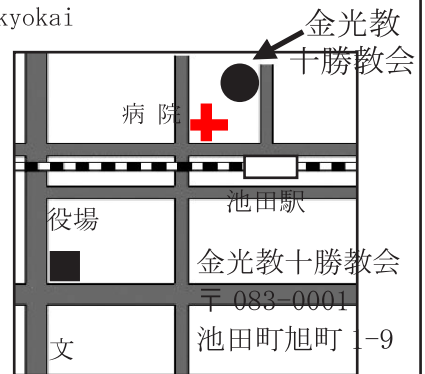
IKEDA

☎ 015-572-2322
FAX 015-572-4213

十勝教会



だより 28



生神金光大神大祭をお迎えして

(金光教本部発行「生神金光大神大祭を迎えて」より)

生神金光大神大祭は、教祖金光大神様の年祭と、教祖様がご神命のままに仕えておられた「金光大神祭り」の意義を頂くとともに、世界・人類救済のために「生神金光大神」を差し向けられた天地金乃神様のご神願と、永世生き通しの生神金光大神様の御取次をあらためて頂き、現代に生きる私たちがそのはたらきを現していくことを祈願するご祭典です。



- 写真 - 教祖生神金光大神様奥城

教祖金光大神様は、二十三年から十七年の間に、次々とご家族を亡く

され、四十二歳の時には、ご自身が九死に一生という大患にかかられるなど、さまざまな難儀に遭遇されましたが、そうしたなかにも、神様への真一心の信心を貫かれ、「神と人とあいよかけよで立ち行く」生き方を、はじめて人の世に現されました。

そのお姿に接し、教祖様のもとにお取次を頼む人が次々と訪れるようになり、安政六年（1859）十月、「此方のように実意丁寧神信心いたしおる氏子が、世間になんぼうも難儀な氏子あり、取次ぎ助けてやってくれ」との天地金乃神様のお頼みを受けられ、家業である農業を止めて、お取次に専念されることになりました。

以来、教祖様は、参ってくる人々に對して、人の助かりをひたすら願われる天地金乃神様のみ心を受け現していくことの大切さを教えられました。そ

のみ論しを受けて、お取次に従う人々も生まれ、各地に出社広前ができ、お道が展開していくこととなりました。そのような教祖様のご信心に対して、明治元年（1868）九月に、神様から「生神金光大神」というご神号が授けられ、さらに、明治六年（1873）十月のご神伝によつて、教祖様は、難儀な世と人々を救い助けるために、神様から差し向けられたことが明確になりました。

そうしたなかにあつて、教祖様が置かれた状況は、時の政府の宗教政策によつてご神前を撤去させられるなど、大変厳しいものでした。しかし、教祖様は、起こつてくるすべてのことを修行として受けられ、神様との「あいよかけよ」のはたらき合いをいっそうに求めていかれました。

本教一切のよりどころとなる「天地書附」が定まり、「一心に願

「おかげは和賀心にあり」という信心のあり方が生まれたのも、神様と人間との間柄を伝える「ご理解」を中心とした救済のあり方が打ち立てられたのも、そうした過程のなかでのことです。

ご晩年の教祖様は、次第に肉体的な衰えが迫られるなかにあつて、「万国まで残りなく金光大神でき、おかげ知らせいたしてやる」とのお知らせにあるように、世界・人類の救済者としての使命をいよいよ確かにされることとなりました。

そして、明治十六年（1883）九月、「人民のため、大願の氏子助けるため、身代わりに神がさする、金光大神ひれいのため」とのお知らせを頂かれ、同年十月十日、かねて仕えておられた「金光大神祭り」の当日にご帰幽になりました。このことによつて、永世生き通しの「生神金光大神取次のおは

たらきが、時間や場所にとらわれることなく、世界中のあらゆる人々に開かれ、人が助かる道筋が定まったのです。

生神金光大神大祭をお迎えするに当たり、あらためてその尊いご生涯にお礼を申し上げるとともに、教祖伝『金光大神』をとおして、教祖様のご信心の内容をいっそうに頂いてまいりたいと存じます。そして、そのご縁につながるお互いとして、共に教祖様が生涯をかけて求め現された「人を助けて神になる」との生神の道を、しっかりと受け継ぎ現してまいりたいと存じます。

十勝教会この後の主な行事

- ・ 越年感謝祭 十二月三十一日
- ・ 元日祭 一月一日
- ・ 午後一時三十分
- ・ 信徒総会 二月十一日
- ・ 午前十一時

十 勝 教 会 日 誌

十勝教会のできごと（平成十七年八月二十一日から）

8 月 21 日

第二回境内清掃

信徒会懇親バーベキュー。

8 月 21 日

音更町 M 家・式年霊祭。

3



— 写 真 —

第二回境内清掃

当日は雨天だったため
境内のお掃除の変わり
にお広前と厨房の掃除
をさせていただきまし
た。



— 写 真 —

信徒会懇親

バーベキュー

お掃除の後は会場を
清見ヶ丘公園にある
清祥亭へ移し、毎夏恒
例のバーベキューを
楽しみました。



―写 真―
北海道教区

青年の集い

「どさんこパーク」

どさんこパークは道内の青年信奉者の交流を目的に毎年行われている行事です。今年は十勝川温泉の十勝エコロジープークを会場に二十名以上の参加者があり、パークゴルフや羊の丸焼きで交流を深めました。

8月23日 札幌市、K家・例年霊祭。

8月24日 社会福祉協議会研修会、教会長出席。

8月27日 ふれあいひろば2005・池田、教会長実行委員長ご用、千鶴子先生参加（28日まで）。

8月27日 教区青年の集い「どさんこパーク」衛先生家族参加（28日まで）。

8月31日 介護保険運営等協議会、教会長出席。

9月4日 全道童謡唱歌をうたう集いイン池田、千鶴子先生参加。

9月10日 金光家先祖祭・一子大明媛百二十年祭みよ子先生参拝。

9月14日 特別養護老人ホーム・長寿を祝う会、教会長出席。

9月19日 旭町一丁目町内会敬老会。

9月27日 グループホームきよみ落成式、教会長出席。

9月30日 池田町老連スポーツ大会、教会長出席

10月3日 全国保護司代表者協議会、教会長出席

10月5日 士幌町、K家・百日祭。

10月7日 グループホームきよみ、新車納入安全祈願祭。

10月10日 二代教会長式年祭、本部生神金光大神大祭遙拝。

10 月 23 日 釧路教会生神金光大神大祭、交流参拝

10 月 26 日 北海道更生保護大会、教会長出席。

10 月 29 日 家族のための介護講座、教会長出席。

10 月 30 日 網走教会生神金光大神大祭、交流参拝



—写真—

網走教会生神金光大神大祭・吉備舞奉納
舞人は菊川朗君と日生子さんです。みよ子先生の練習
会に参加されています（下掲）。

11 月 3 日 北見教会生神金光大神大祭、交流参拝

11 月 3 日 夕張教会生神金光大神大祭、教会長祭
主・教話奉仕、衛先生出仕。

11 月 6 日 吉備舞練習会・於十勝教会、網走教会
参加。

11 月 6 日 帯広教会生神金光大神大祭、交流参拝。

11 月 6 日 帯広市、I 家・式年霊祭。

11 月 7 日 十勝地区福祉サミット、教会長出席。

11 月 12 日 青年教師会家族会、衛先生家族参加。

11 月 13 日 大祭前大掃除、ご用打ち合わせ。



—写真—

大祭前大掃除

会堂やご神前の掃除と境内の雪囲いな
ど大祭と冬を迎える準備をしました。

♪親神のよぎしのままに♪

一、親神のよぎしのままに
わが生神の
取次の
代々を経て
神からも
両方の
親神の
生神を
神のひれ
照り映えて
取次の
とこしえに

二、
金光大神
道立ちしより
今につけり
氏子からも
恩人なりと
のらし給える
讃えまつらん
木綿崎山に
日の光なす
道の靈光を
仰ぎまつらん

食前訓
食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食後訓
体の丈夫を願え
体をくれ
事も体が元なり
何事も元なり

先 祭員着席
次 拝礼
次 神前拝詞奉唱
次 取次唱詞奉唱
次 祭主祭詞奏上
次 祭主玉串奉奠
次 天地書附奉体
次 参拝者代表玉串奉奠
次 金光大神賛仰詞奉唱
次 親神のよぎしのままに斉唱
次 拝礼
次 祭員退下

教 話
立教神伝奉読
前講 講師紹介
十勝教会信徒会
手塚栄子氏

あいよかけよの生活運動

願 い
わが心の神に目ざめ
祈り、対話行動をもって
神を現す生活をすすめ
共に助かる世界を生みだそう



KONKOKYO
金 光 教